

## ■ 関西支部だより

低温工学・超電導学会関西支部では、第36回低温工学基礎技術講習会（Web講習会）を、学生（9名）、大学教職員（3名）、関係企業の若手技術者（5名）の計17名の参加を得て、2020年9月16日に開催した（日本表面真空学会関西支部、応用物理学会関西支部協賛）。本講習会は、企業・大学の若手研究者や低温工学の初学者を対象として、寒剤の取扱い・低温生成・低温と安全・温度計測・低温用材料の性質・超伝導などの基礎的技術を習得していただくことを目的としている。本年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）禍の中、参加者および講師の安全衛生確保の観点から例年2日間かけて行っている実習は実施せず、座学講義のみのWeb講習会（Zoom）として開催した。講義項目は以下のとおりである。

- (1) 寒剤の性質
- (2) 低温生成 —パルス管冷凍—
- (3) 低温と安全
- (4) 温度計測 —高磁場下温度計測—
- (5) 低温材料 —実学的低温材料—
- (6) 超伝導の基礎
- (7) 超伝導の応用 —電力機器、産業機器他—



図1 Web講習会のスクリーンショット

Web講習会という初めての試みでしたが、すべての講義項目を実施することができ、参加者の皆様、講師の先生方、事務局、アルバイトの学生さんのご協力に心より感謝申し上げます。また、オンラインとなったことで従来にはない復習教材サービスとして、希望者を対象に本講習会の講義を録画した内容（一部の講義を除く）をオンデマンドで一週間程度配信した。より理解を深めたい参加者や、講習会中一部通信環境が不安定になり、視聴が途切れた参加者ら数名の希望があったためである。加えて、講義テキストとは別に、講習会で使用した講義スライド資料集を参加者全員に配

布した。

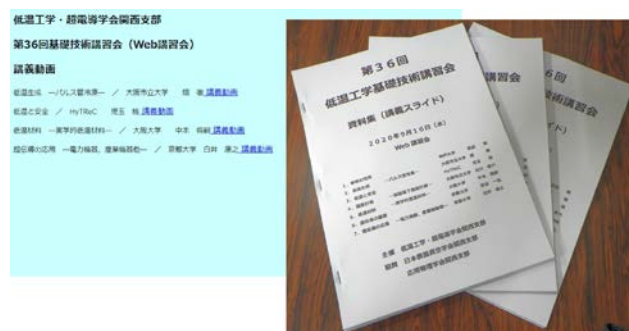


図2 講義動画配信サイトのスクリーンショットと講義スライド資料集

講習会終了後の参加者のアンケートでは、「オンラインでも十分に理解できた」、「オンラインにより場所の制約がなくなり受講し易くなった」などの意見があり、講習会としての役割はある程度果たせたのではないかと胸をなで下ろしている。一方で、「実習を通じて身をもって理解すること」への強い思いも多数寄せられており、基礎技術講習会を実習・講義両輪で実施することの重要性を再認識した。

（大阪大学 中本将嗣）